SOUND DEVICES

SL-6

Powering and Wireless System for the 688

User Guide

日本テックトラスト株式会社

Legal Notices

Product specifications and features are subject to change without prior notification.

Copyright © 2015 Sound Devices, LLC.
All rights reserved.

This product is subject to the terms and conditions of a software license agreement provided with the product, and may be used in accordance with the license agreement.

This document is protected under copyright law. An authorized licensee of this product may reproduce this publication for the licensee’s own personal use. This docment may not be reproduced or distrib-uted, in whole or in part, for commercial purposes, such as selling copies or providing educational ser-vices or support.

This document is supplied as a technical guide. Spe-cial care has been taken in preparing the information for publication; however, since product specifications are subject to change, this document might contain omissions and technical or typographical inaccura-cies. Sound Devices, LLC does not accept responsi-bility for any losses due to the user of this guide.

Trademarks

The “wave” logo and USBPre are registered trademarks, and FileSafe, PowerSafe, SuperSlot, MixAssist and Wave Agent are trademarks of Sound Devices, LLC. Mac and OS X are trademarks of Apple Inc., regis-tered in the U.S. and other countries. Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This devices may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Manual Conventions

Symbol	Description
>	This symbol is used to show the order in which you select menu commands and sub-options, such as: Main Menu > Audio indicates you press the Menu button for the Main Menu, then scroll to and select Audio by pushing the Control Knob.
+	A plus sign is used to show button or keystroke combinations. For instance, Ctrl+V means to hold the Control key down and press the V key simultaneously. This also applies to other controls, such as switches and encoders. For instance, MIC+HP turn means to slide and hold the MIC/TONE switch left while turning the Headphone (HP) encoder. METERS+SELECT means to hold the METERS button down as you press the SELECT encoder.
ⓘ	A note provides recommendations and important related information. The text for notes also appears in a different color and italicized.
⚠	A cautionary warning about a specific action that could cause harm to you, the device, or cause you to lose data. Follow the guidelines in this document or on the unit itself when handling elec-trical equipment. The text for caution-ary notes also appears in a different color, bold and italicized.

SL-6 User Guide • Rev 1-A • June 24, 2015

This document is distributed by Sound Devices, LLC in online electronic (PDF) format only. E-published in the USA.

2015/08/18

Revision History

Rev#	Date	Description
1-A	June 2015	Initial Official Publication
1-B	Aug 2015	Added section on “Automatic Receiver Output Setup” on page 14.

目次

目次

SL-6 電源とワイヤレスシステム

前面パネル..6
右パネル 7
左パネル 7
SL-6 への電源供給 8
電源インフォメーション 8
SL-6 DC 出力 9
SL-6 DC 出力 9
アンテナ分配..10
ワイヤレス・レシーバーの使用 11
ワイヤレス・ソースの選択.................................12
レシーバーのオーバービュー画面.......................12
Unislot レシーバー..13
レシーバーのオーバービュー画面.......................13
自動レシーバー出力の設定.................................14
レシーバーの詳細画面 – 例 A 15
レシーバーの詳細画面 – 例 B 16

SL-6 仕様

電源 18
アンテナ分配..19
外寸・重量...19

SL-6 電源とワイヤレスシステム

SL-6 は 688 ミキサー用の専用オプションで、NP-1 バッテリーを内蔵して 688 ミキサー、ワイヤレスレシーバーに給電するだけでなく、DC 出力端子に接続された外部機器にも給電することができます。

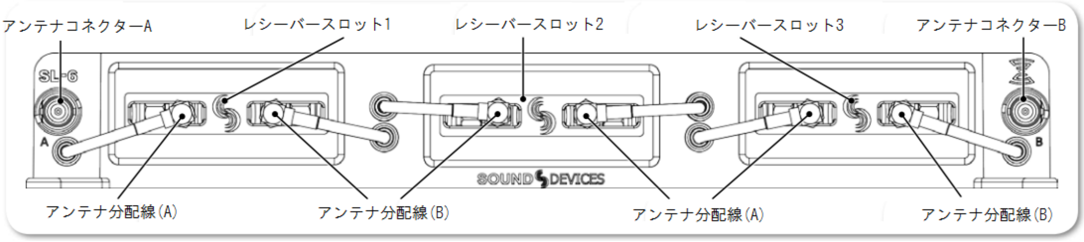
Sound Devices の登録商標の SuperSlot は、ワイヤレスレシーバー用のスロット接続方式です。 レシーバーモジュールへの電源供給、オーディオ接続だけでなく、SuperSlot 対応のレシーバーを 688 からコントロールすることができます。

Info: SL-6 は、688 のトップパネルに装着します。SL-6 の装着方法は、SL-6 製品に付属するクィックスタートガイドを参照してください。この資料は Sound Devices の web サイトからダウンロードすることができます。

このセクションのトピックス

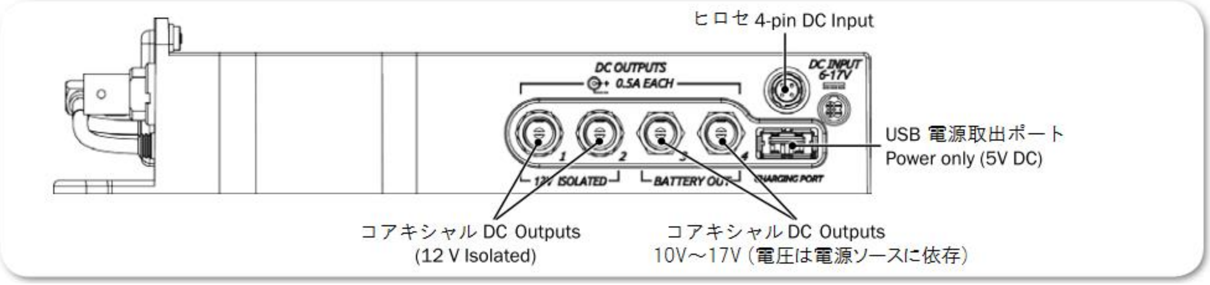
- **> 前面パネル**
- **> 右パネル**
- **> 左パネル**
- **> SL-6 に電源供給**
  - > 電源画面
  - > SL-6 DC 出力
  - > SL-6 電源設定
- **> アンテナ分配**
- **> ワイヤレスレシーバー**
  - > ワイヤレスソースの選択
  - > レシーバーオーバービュー画面
- **> ユニスロット・レシーバー**
- **> SupaerSlot レシーバー**
  - > レシーバーの詳細画面 例 A
  - > レシーバーの詳細画面 例 B

前面パネル



機能	詳細
レシーバースロット	各スロットには 1 台の SuperSlot か Unislot のレシーバーを装着することができます。 スロット接続によりレシーバーに電源が供給され、音声出力が 688 に直接入力されます。
アンテナ分配線	L アングルの SMA コネクターにより、レシーバーは SL-6 のアンテナ分配システムに接続されます。
アンテナコネクター	SL-6 アンテナ分配システムに接続する外部アンテナ用の BNC コネクターです。 *Info: SMA コネクター付のアンテナは、BNC 対 SMA 変換アダプターを使用してください。*

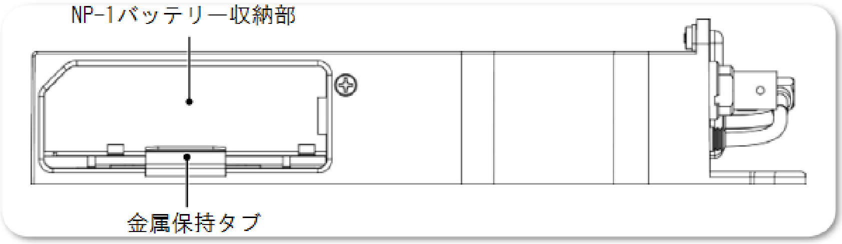
右パネル



機能	詳細
ヒロセ 4-pin DC 入力	688 と SL-6 用の電源入力です。 SL-6 と 688 に電源供給するには、このコネクターに給電するか、NP-1 バッテリを装着してください。
コアキシャル DC 出力（12V Isolate）	SL-6 の電源ソース（ヒロセ 4-pin か NP-1 バッテリー）からアイソレートされた 12V を出力します。 各出力はデフォルトで On ですが、メニュー画面設定で Off にすることができます。
コアキシャル DC 出力（10～17V）	SL-6 の電源ソース（ヒロセ 4-pin か NP-1 バッテリー）からの DC（10V～17V）を出力します。各出力はデフォルトで On ですが、メニュー画面設定で Off にすることができます。
USB 電源取出ポート	標準 USB 5V DC 出力を有効な SL-6 電源ソースから供給します。 *Info: SL-6 の USB ポートはチャージ専用に設計されており、データ転送することはできません。*

左パネル

SL-6 の左パネルは、NP-1 バッテリー収納部があり、NP-1(14V, Li-ion か NiMH) を収納できます。（バッテリー装着時は、NP-1 バッテリーの一部が露出しますが正常です。）



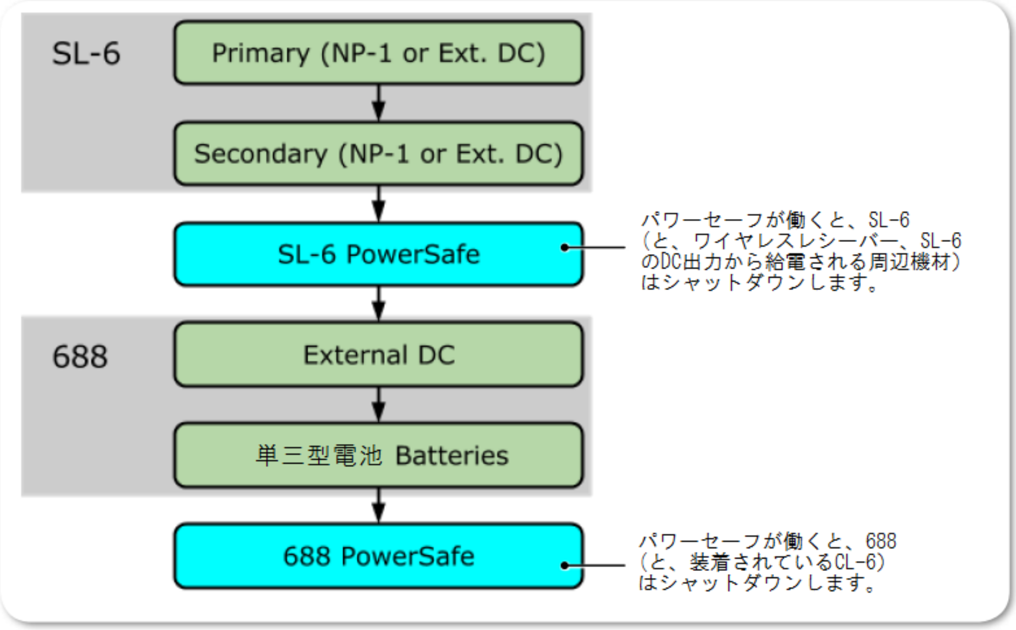
NP-1 バッテリーを挿入する：

1. カチッというまで保持タブを引っ張ります。ユニットからおよそ 3cm とびだすと止まります。
2. バッテリーの金属端子側が下向きになるようにして、端子側をバッテリー収納部へ入れます。
3. 保持タブがバッテリーの後端でしっかりスナップするまで、NP-1 バッテリーを押し込みます。

SL-6 への電源供給

SL-6 は 2 つの電源入力（NP-1 バッテリーと外部 DC 入力）を持ちます。これらのどちらかの電源により、SL-6、688（接続されていれば CL-6 も）、SL-6 から電源供給されるデバイス類に電源が供給されます。 両方の電源ソースが両方とも消耗していまうと、SL-6 のパワーセーフ回路により、録音を強制停止するまでの 10 秒間は動作状態をキープします。この時、688 に外部 DC 電源入力か単三電池で給電されていれば、688 だけはそのまま動作を続けることができます。

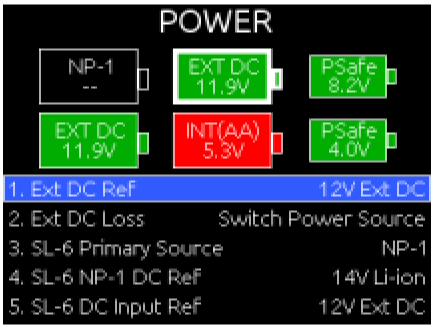
Info: *688 に直接接続されている電源ソース（外部 DC 入力か単三電池）から、SL-6 に電源が供給されることはありません。*



SL-6 が装着されていると、メイン画面の中のバッテリーアイコンに、NP か EX が表示されて、どちらのバッテリーが使用中か判別できます。（Menu 設定で SL-6 Primary Source に設定された電源ソースを先に消費します。）

電源インフォメーション

SL-6 が 688 に装着されているとき、ミキサーの Power 画面には、688 の電源ソース状況（下段の 3 つ）だけでなく、NP-1 バッテリー、SL-6 外部 DC 電源ソース、SL-6 パワーセーフ回路の電圧も表示されます。



SL-6 DC 出力

SL-6 の右パネルには、ロック式コアキシャルコネクター（1~4 番）の 4 つの DC 出力と USB チャージ・ポートがあります。 出力 1~4 は 12VDC 出力です。 出力 1 と 2 は、システム電源とは独立していて、システムのグランドと共有されません。

DC 出力を On/Off する方法：

1. MENU ボタンを押します。
2. HP エンコーダを回して、 **POWER > SL-6 Powwer Outputs** を選択します。
3. HP エンコーダを操作して、出力の 1 つを選択して On か Off に設定します。

NP-1 バッテリーを過放電から保護するために、全体の電源消費が 45W に達すると、688 はディスプレイに警告メッセージを表示します。 電源消費が 50W（SWIT 製バッテリー）か 53W（IDX 製バッテリー）に達すると、電源消費が 45W に落ちるまで段階的（出力 4 から順に 1 へ）に DC 出力をオフにします。 最初に USB チャージ・ポートがオフになり、次に DC 出力 4、DC 出力 3、DC 出力 2、最後に DC 出力 1 がオフになります。 45W 以下であれば、手動で各出力を On に戻すことができます。

SL-6 DC 出力

SL-6 が装着されているとき、次のように Menu 設定の POWER 項目で設定することができます。

機能	詳細	オプション
SL-6 Primary Source	プライマリーパワーソースの選択。	・NP-1 ・DC Input
SL-6 NP-1 DC Ref	使用中の NP-1 バッテリーのタイプに合わせてパワーレベル表示の調整。 [Default: 14V Li-ion]	・14V Li-ion ・NiMH
SL-6 DC Input Ref	外部 DC ソースのタイプに合わせてパワーレベル表示の調整。 [Default: 12V Ext DC]	・12V Ext DC ・NiMH ・Expanded NiMH ・12 Lead Acid ・14V Li-ion ・Full Range
SL-6 Power Outputs	各 DC 出力を On/Off するサブメニュー	・Output 1 (12V Isolated) ・Output 2(12V Isolated) ・Output 3 (Battery) ・Output 4 (Battery)・ ・USB Charging Port

アンテナ分配

2 つのアンテナ接続（A と B）用 BNC コネクターは、アンテナ分配システムへアンテナを接続するためのものです。SMA コネクター付のアンテナを使用する場合は、製品（SL-6）に付属する BNC 対 SMA 変換を使用してください。

SL-6 に取付けられているアンテナは、レシーバーに直接マウントされる場合よりもアンテナ間隔が広くなることから、ダイバシティパフォーマンスが改善されます。 これは、RF 信号の反射による致命的なキャンセレーションによる信号消失の機会を減らすことになります。

SL-6 の BNC コネクターに直接アンテナがマウントされる時に、良いパフォーマンスを得ることができるでしょう。 SL-6 の筐体をグランドとするこのシナリオで、1/4 波長のホイップアンテナが一般的に多く用いられます。

受信アンテナがより高い位置にあるほど、通常は良いパフォーマンスを得ることができます。 トランスミッターからの直接波を受けることによって信号強度が改善されるので、アンテナをショルダーマウントに変更することも 1 つの改善策となります。アンテナを選択することも改善策となります。 1/4 波ホイップアンテナのようなアンテナでは、グランドプレーン（アンテナに対して垂直の関係になる金属反射面）が必要とされます。 他には、1/2 波長アンテナやログ・ペリオディック・アンテナなどがあり、グランドプレーンの必要なく、離れて設置されることができます。

最高のパフォーマンスのために、Sound Devices 社では指向性のリモートアンテナの使用を推奨します。アクティブ・アンテナに電源を供給するための 12V バイアス電圧は、SL-6 の各 BNC コネクターに給電することができます。

多くの要素が RF 通信の良否に関連するので、御使用になる環境によって対策と結果は異なる場合があります。

アンテナバイアス電源

必要に応じて、12V バイアス電源を各アンテナに供給することができます。

アンテナにバイアス電圧を供給するには：

1. MENU ボタンを押します。
2. つぎのどちらかの操作を行います。
   - HP エンコーダを操作して、 **select SL-6 > Antenna A Power** を選択します。
   - HP エンコーダを操作して、 **select SL-6 > Antenna B Power** を選択します。
3. HP エンコーダを操作して、バイアスパワーの On / Off を設定します。

ラジオフリケンシー（RF）フィルター

SL-6 は、携帯電話や TV 放送局のようなものからの電波干渉がある空間での運用を行うための RF フィルターを持っています。 選択には異なる 4 つの周波数レンジがあります。

RF フィルターを有効にする方法：

1. MENU ボタンを押します。
2. HP エンコーダを操作して、 **select SL-6 > Antenna Filter** を選択します。
3. HP エンコーダを操作して、フィルターレンジを選択します。

ワイヤレス・レシーバーの使用

SL-6 は、DB-25 コネクター接続による SuperSlot と unislot レシーバーをサポートします。 SL-6 レシーバースロットは電源を供給し、両方のレシーバータイプのオーディオ接続を提供します。 また、SuperSlot レシーバーは、688 のインターフェースからコントロールされることができます。

SL-6 にアンテナを取り付けるには：

➢ 各アンテナを SL-6 の BNC コネクターに接続します。

SL-6 にレシーバーを取り付けるには：

Info: *レシーバーモデルによって取付け手順はさまざまです。 レシーバーの製造メーカーのドキュメンテーションを参照して、取付手引きに従ってください。*

Info: *Lectrosonics SRb5P は SL-6 のスロット 1 には接続できません。 （レシーバーに付属する）青いスペーサーを用いて、SRb5P をスロット 2 かスロット 3 に接続してください。*

1. 688 の電源を切ります。
2. SL-6 は、輸送時に L アングルアダプターを保護するために SMA アンテナコネクターをホールドするためのラバースロットプロテクター付で出荷されます。 使用前にこれらは取り外す必要があります。 コネクターを取外してから、ラバープロテクターを引っ張ってはずします。

Info: *ラバープロテクターはなくさないよう保管してください。 スロットを使わない時は、コネクターをラバープロテクターの中に納めて保護することをお勧めします。*

3. SL-6 のスロットにレシーバーをスライドして装着します。 必要に応じて供給されるスペーサーを使用してください。

4. 4 つのスクリューでレシーバーと SL-6 を固定してください。

Info: *レシーバーに適したスクリュービスを使用してください。 長いスクリュービスを使用すると、SL -6 にダメージを与えます。*

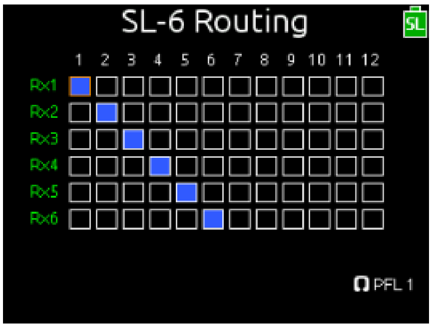
5. レシーバーの両サイドの SMA コネクターを回してレシーバーにアンテナ分配線を取り付けます。

ワイヤレス・ソースの選択

SL-6 Routing 画面から、SL-6 ワイヤレス・レシーバーの出力を 688 の入力へアサインすることができます。 1 つのワイヤレス・レシーバー出力を 1 つの 688 入力へルーティングすることができます。

688 入力にレシーバー出力をルートするには：

1. 任意のチャンネルの PFL スイッチをスライドさせて、その入力設定画面を表示させせます。
2. HP エンコーダを押して、入力ソースのリストを表示させせます。
3. HP エンコーダを操作して SL-6 を選択すると、SL-6 Routing 画面が表示されます。ワイヤレスレシーバー出力が「行」、688 の入力が「列」を構成します。 青いボックスはアサインが有効であることを意味します。



4. 以下のどちらかの操作を行います。

- SELECT エンコーダを操作して、オレンジ色のカーソルを垂直に移動させて、アサインの On / Off を設定します。
- HP エンコーダを操作して、オレンジ色のカーソルを水平に移動させて、アサインの On / Off を設定します。

Info: *ワイヤレス·レシーバー出力が 688 入力にルートされると、そのチャンネルの入力設定が SL-6 に設定されます。 ワイヤレス·レシーバー出力が 688 入力にルートされていない時、そのチャンネルの入力ソースは Off に設定されます。*

レシーバーのオーバービュー画面

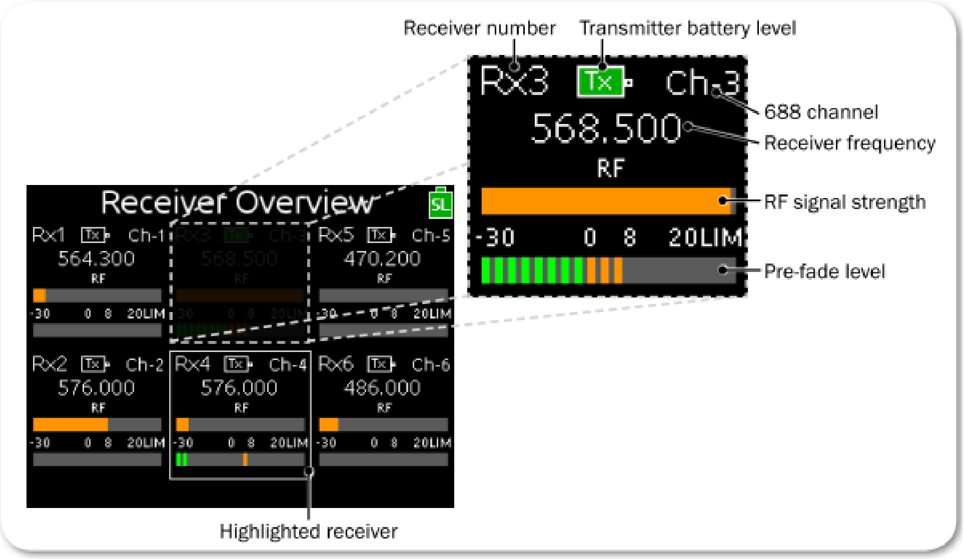
Receiver Overview 画面は、SL-6 に接続されているすべてのレシーバーの情報が総合的に表示されます。 この画面の情報はリードオンリーです。

Receiver Overview 画面を表示するショートカット：

- HP + METERS：HP エンコーダを押しながら、METER ボタンを押します。

メインメニューからレシーバー・オーバービュー画面を表示：

MENU ボタンを押します。
HP エンコーダを操作して、SL-6 > Receiver Overview を選択します。



SuperSlot に対応したレシーバーでは、トランスミッターのバッテリー状況がバッテリーアイコンの色によって表示されます。緑色 = 50%以上、黄色 = 20%以上、オレンジ色 = 10%以上、赤色 = 10%未満。 アイコンの色が黒色の場合は、トランスミッターがバッテリー情報をサポートしていません。

Unislot レシーバー

Unislot タイプのレシーバーの情報は、688 の液晶ディスプレイには表示されません。 Unislot レシーバーの設定は、レシーバー本体で設定します。

レシーバーのオーバービュー画面

688 の電源が入っている時、SL-6 はレシーバーに自動的に給電します。 装着された SuperSlot レシーバーは、レシーバーのボタンが操作不能にロックされた状態で起動します。

Info: *688 の電源が入っている状態で、SuperSlot レシーバーの電源を切らないでください。 もし SuperSlot レシーバーの電源を(レシーバーのボタンでアンロックして)手動で切ると、もう一度手動で電源を入れてから 688 を再起動するまで、レシーバーが認識されなくなります。*

SuperSlot レシーバーは 688 のユーザーインターフェースからレシーバーの設定を行うことができます。 装着された各 SuperSlot レシーバーの詳細な情報は、688 のレシーバーの詳細画面に表示されます。

画面のタイトルは、レシーバーのタイプかモデルを表示します。 使用されているレシーバーによって、画面の情報はさまざまです。 使用されているレシーバーに関する詳細な情報に関しては、レシーバーの製造元にお問い合わせください。

レシーバーオーバービュー画面からレシーバー詳細画面を表示：

1. METERS + HP : METER ボタンを押しながら HP エンコーダを押すと、Reciever Overvew 画面が表示されます。
2. HP エンコーダを操作して、レシーバーを選択します。

Info: ショートカット *HP + PFL(1-6)* により、各レシーバーの画面にアクセスすることができます。 これは *Receiver Overview* 画面の表示を省き、スロットにあるすべてのレシーバー情報を表示します。

レシーバーの周波数調整は、製造メーカーやレシーバーの型番ごとに異なります。 現在のチューニング値はレシーバーの詳細画面の中で、四角の枠で選択されたレシーバーの中に示されます。

レシーバーのチューニング：

1. 「レシーバーの詳細」画面にアクセスします。
2. HP エンコーダを操作して、選択された項目を編集モードにします。 編集モードに入ると、項目の背景色が青色に変わります。
3. HP エンコーダを回して値を調整します。
4. HP エンコーダを押して、値を適用します。

自動レシーバー出力の設定

SL-6 にレシーバーを装着したとき､､最適なパフォーマンスになるようレシーバーのいくつかの設定が自動的に変更されます。

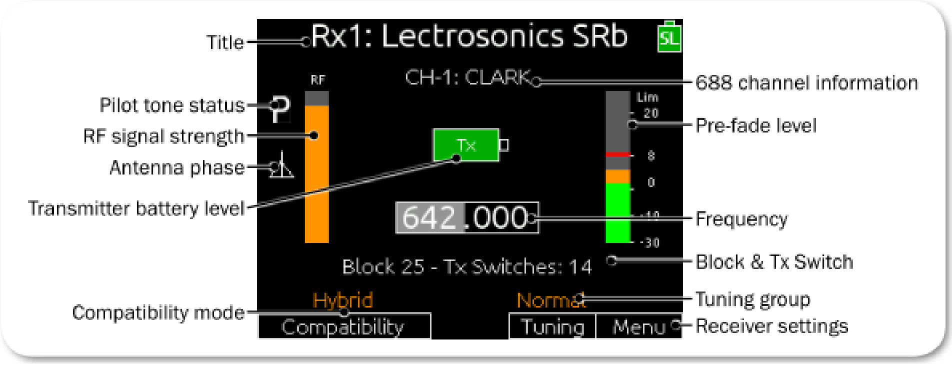
レシーバー	設定	詳細
Lectrosonics SRB	SETUP > LEVEL = +2	SRB 出力とミキサーの入力段において､最適なオーディオレベルとダイナミックレンジが整るように、自動的に SRBs の Gain が 2、Phase が+に設定されます。 レシーバー出力レベルを手動で調整する必要はありません。 688 のトリムコントロールで調整してください。
	SETUP > PHASE = +	
Wisycom MCR-42S	SL-6 に装着されたすべてのレシーバーが AES-3 対応の時だけ､以下の設定が適用されます。	
	MENU > Advanced > LINE Mode = AES-3	
	MENU > Advanced > Edit RX1/RX2 > Audio Out > AES3 max leve = 0 dBFS	
	MENU > Advanced > Edit RX1/RX2 > Sig. phase = 0°	
	SL-6 に AES-3 未対応のレシーバーが 1 台でも装着されていると、次の設定が適用されます。	
	MENU > Advanced > LINE Mode = Analog	
	MENU > Advanced > Edit RX1/RX2 > Audio Out > Line max lev = 2dBu	
	MENU > Advanced > Edit RX/RX2 > Sig. phase = 0°	

備考：MCR-42 の設定を手動変更した場合

パネルロックを解除して設定を変更しても（LINE Mode や Line max lev など)、688 の電源を入れなおしてのクイックブート後、自動的にデフォルト設定に戻り、パネル操作も再びロックされます。ただし、LED 設定（Full/Alarms/OFF）だけは保持されます。（LED にディマーはかけられません。）

レシーバーの詳細画面 – 例 A

レシーバーの詳細画面で示される情報は、レシーバーのモデルごとに異なります。 このマニュアルでは、いくつかの例を示します。 つぎの例は、Lectrosonics SRb です。 これらのセッティングに関する詳細は、Lectrosonics にお問い合わせください。



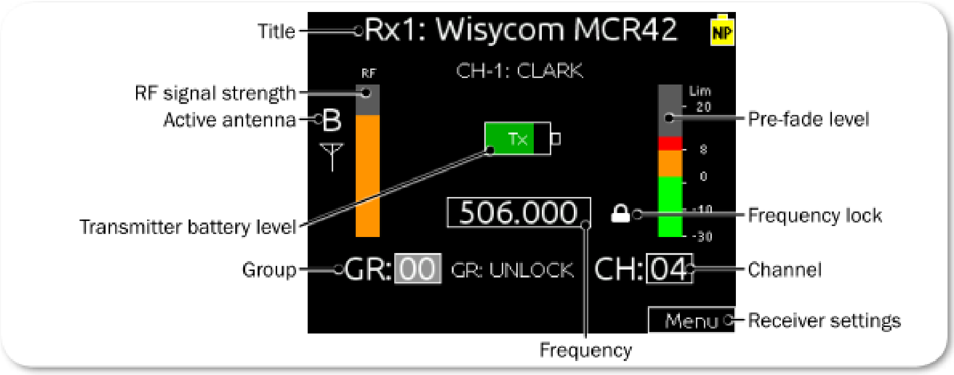
機能	詳細
Title	画面タイトルには、製造メーカーと型番によって変わるレシーバーの数字が表示されます。
Pilot tone status	パイロットトーンの状況により、異なる文字が表示されます。 ・ 強調文字の P: トランスミッターから受信しています。 ・ 点滅の P: パイロット信号がありません。 ・ 強調文字の小文字 b: パイロット信号のバイパス。
RF signal strength	RF 信号強度を表示

機能	詳細
Antenna phase	レシーバーで Switching Diversity モードがアクティブの時アンテナアイコンが表示されます。 アンテナ位相が反転すると、アイコンが垂直にフリップします。
Transmitter battery level	トランスミッターの電池状況を示します。緑色 ＝ 50%以上、黄色 ＝ 20%以上、オレンジ色 ＝ 10%以上、赤色 ＝ 10%未満。 アイコンの色が黒色の場合は、トランスミッターがバッテリー情報をサポートしていません。
Compatibility	レシーバーのコンパチビリティ・モードが表示されます。 **コンパチビリティ・モードを変更するには：** ➢ MIC/TONE スイッチを左右どちらかにスライド
688 channel information	レシーバーの音声がルートされている 688 のチャンネル番号とチャンネルネームが表示されます。
Pre-fade level	レシーバーの音声出力レベル。 688 にルートされているチャンネル上のプリフェーダーレベルです。
Frequency	レシーバーが設定されている周波数が表示されます。数字全体と、小数点を別々に調整できます。小数点の調整は 0.1 単位か 0.25 単位です。 **周波数を調整するには：** ➢ HP エンコーダを回す／押す
Block & Tx Switch	ブロックナンバーとトランミッタースイッチ値
Tuning	チューニング・グループが表示されます。 周波数の調整ステップが選択されたグループに制限されます。 “Fine” は 0.25 ステップ、”Normal” は 0.1 ステップです。 **Tuning グループを変更するには：** ➢ RTN/FAV スイッチを左にスライド
Menu	レシーバーのモデルごとの特定の設定にアクセスします。 **レシーバーの設定にアクセスするには：** ➢ RTN/FAV スイッチを右にスライド

レシーバーの詳細画面 – 例 B

つぎの例は、Wisycom MCR42 のレシーバー詳細画面です。 これらのセッティングに関する詳細は、Wisycom にお問い合わせください。

Info: *この章は、firmware version 3.5 以降の Wisycom レシーバーに適用します。 これより若いバージョンの Wisycom レシーバーをスロットに装着した場合、Unislot レシーバーとして認識されて、688 のディスプレイからコントロールすることはできません。*



機能	詳細
Title	画面タイトルには、製造メーカーと型番によって変わるレシーバーの数字が表示されます。
RF signal strength	RF 信号強度を表示
Active antenna	現在使用中のアンテナを、A か B で表示します。
Transmitter battery level	トランスミッターの電池状況を示します。緑色 = 50%以上、黄色 = 20%以上、オレンジ色 = 10%以上、赤色 = 10%未満。 アイコンの色が黒色の場合は、トランスミッターがバッテリー情報をサポートしていません。
GR	レシーバーのグループナンバーが表示されます。 **グループナンバーを設定するには：** ➢ HP エンコーダを操作します。
Pre-fade level	レシーバーの音声出力レベル。 688 にルートされているチャンネル上のプリフェーダーレベルです。
Frequency lock	周波数がロックされているチャンネルには、ロック・アイコンが表示されます。ロックされていると周波数を調整できません。
CH:	レシーバーのチャンネルナンバーです。 **チャンネルナンバーを設定するには：** ➢ HP エンコーダを操作します。
Menu	レシーバーのモデルごとの特定の設定にアクセスします。 **レシーバーの設定にアクセスするには：** ➢ RTN/FAV スイッチを右にスライド
Frequency	レシーバーの周波数が表示されます。数字全体と、小数点を別々に調整できます。小数点の調整は 0.25 単位です。 周波数がロックされていると調整できません。 **周波数を調整するには：** ➢ HP エンコーダを操作します。

SL-6 仕様

この章では、SL-6 の電源とワイヤレスシステム、688 用のオプションアクセサリーについて説明します。

仕様は予告なしに変更されることがあります。Sound Devices 社の製品に関する最新の情報を得るには、www.sounddevice.com のウェブサイトを訪れてください。

このセクションのトピックス

> 電源
> アンテナ分配
> 寸法と重量

電源

Name	Description
External Power Supply	• 10 to 18 V on locking 4-pin Hirose connector • Pin-4 = (+), Pin-1 = (-) • Mates with gold Hirose #HR10A-7P-4P (DigiKey# HR110-ND) or silver Hirose #HR10-7P-4P (DigiKey# HR100-ND) locking connector
PowerSafe	• 10 second power reserve to SL-6, 688 (and CL-6 if connected), and attached peripherals.
USB Charging port	• 5 V, 2 A max
DC Outputs 1-2	• Locking, coaxial connector • Isolated • 12 V, 0.5 A max
DC Outputs 3-4	• Locking, coaxial connector • 10 to 17 V, 0.5 A max

アンテナ分配

Name	Description
Antenna impedance	• 50 ohm
Antenna bias voltage	• 12 V @ 200 mA
Antenna filter ranges	• 470-870 MHz • 470-700 MHz • 470-590 MHz • 580-700 MHz

外寸・重量

Name	Description
Dimensions (H x W x D)	• 1.4 in x 12.7 in x 5.6 in • 3.6 cm x 32.3 cm x 14.2 cm
Weight (without receivers)	• 2 lbs 6 oz • 1.08 kg

SOUND DEVICES

Sound Devices, LLC
E7556 Road 23 and 33
Reedsburg, Wisconsin USA

+1 (608) 524-0625
Fax: +1 (608) 524-0655

Customer Support

Toll Free: (800) 505-0625

support@sounddevices.com
http://www.sounddevices.com/support
http://forum.sounddevices.com

Product Information

For more information about products and accessories, visit us on the web at www.sounddevices.com